

市議会の動き

2月14日に招集された第1回定例会の中から、2月19日、20日、21日の代表質問の主な内容、3月10日までに可決された議案などについてお知らせします。3月11日以降の内容は、5月号でお知らせします。なお、代表質問については、ホームページの録画中継でもご覧になれます。

児童心療センター

よこやま みねこ 峰子 自民党・市民会議



問平成24年4月に静療院が閉鎖、児童心療センターが開設されましたが、このセンターの入院病棟を本年4月から休止し、平成27年4月をめどに福祉施設に転換することです。運営正常化に向けて利用者に不安を抱かせない対応を切に望んでいます。センターに関するこれまでの対応をどのように考えていますか。

答平成24年に4名の医師が退職表明して以来、病棟も含めた診療機能の維持に最大限努めてきました。一方、センターの在り方を審議会に諮問し、答申に沿ってセンターの病棟を休止し、福祉施設化することを決定しました。今後も安定運営に向けて努力していきます。

子どもの体力向上の取り組み

こたけ ともこ 小竹 知子 自民党・市民会議



問北海道の子どもの体力が全国最下位との新聞報道がありました。子どもの体力向上に向けて、具体的にどのような取り組みを進めようとしているのですか。

答体力向上とともに健康に関する指導の充実も含めたプランを策定し、学校、家庭、地域、関係機関と連携した取り組みを推進します。特に課題のある持久力や敏しょう性向上のため縄跳びを推奨し、冬期間の運動確保に向け、スキー学習の充実などを一層推進します。

路面電車ループ化区間の安全対策

はせがわ まもる 長谷川 衛

民主党・市民連合



問ループ化区間は、札幌駅前通の車道両側に軌道を敷設するサイドリザベーション方式が特徴ですが、自動車に対する交通安全の面で対策が必要です。ループ化区間の交通安全対策をどのように考えていますか。

答ループ化区間でのサイドリザベーション方式は、歩道から乗り降りができ、高齢者を含めた誰もが利用しやすいことから採用したものです。一方、自動車に対する安全対策として、軌道舗装のカラー化による視認性向上や、歩行者の飛び出し防止のためのプランター設置のほか、広報誌などによる安全運転の啓発、交通安全運転教室の開催などを検討しています。

プレーパークの推進

むらかみ 村上 ゆうこ

民主党・市民連合



問子どもの「外遊び」活動のため、本市による「プレーパーク推進事業」が平成23年度にスタートしました。プレーパークに関する今後の取り組みの方向性と旧真駒内緑小学校跡施設における展開について伺います。

答推進に当たっては、多くの担い手の育成が不可欠であり、実施希望団体に対するサポート体制を強化します。また、旧真駒内緑小学校跡施設を有効活用し、本市のモデルとして市内全域への普及に努めます。

耐震診断と改修工事に対する補助

ほんごう としぶみ 本郷 俊史

公明党



問耐震改修促進法が改正され、旧耐震基準で建築された病院など大規模な建築物に対し、耐震診断の実施と行政機関への結果報告が義務付けられました。高額な診断費用に対する、市の補助限度額について伺います。

答市内に約100棟を超える民間の対象建築物を支援するため、平成26年度予算は補助件数を拡大、補助限度額はこれまでの補助制度との均衡を考慮して設定しました。なお、国が新設した補助制度の併用により、費用の約4割が補助されることから、活用を促します。

問耐震診断の結果、耐震改修が必要となる民間建築物への支援にこれまで以上に取り組む必要があります。現在の補助制度を大幅に拡充する考えはありますか。

答耐震改修工事は、費用が多額になると聞いています。現在、耐震改修の実施状況や意向などを調査中で、これを踏まえて補助制度の在り方を検討します。